

青森県現代俳句協会会報

令和二年度青森県俳句懇話会十和田紙上大会

今年度は新型コロナウイルス対策のため紙上大会として開催された。当大会は平成28年から本協会が後援したことから青森県現代俳句協会賞が設けられています。その概要を本会員を中心に紹介します。

投句者は168名でした。

兼題はA「夏草」とB夏季雑詠の二題でした。その結果を各選者の天位・地位・人位について会員のみをご紹介します。

【総合順位】⑫山谷文子

兼題一位（青森県現代俳句協会会長賞）草野力丸

【兼題】A「夏草」

坂本幽弦選

地位 寝転べば背中を押せり夏の草 桜田 花音

吉田千嘉子選

人位 夏草や鎮め切れざる蝦夷の血 加藤健一郎

【兼題】B夏季雑詠

田村正義選

人位 波裏は北斎の青夏怒涛 南 美智子

対馬迪女選

人位 鉛筆を鋭く削る修司の忌 後藤 瑞江

日野口晃選

天位 海を見て眼涼しき夜なりけり 山谷 文子

東北地区現代俳句協会連合会総会及び第34回現代俳句東北大会

今年度は、当初から新型コロナウイルスの感染状況が懸念されていましたが、全国的に大会等の会場使用が中止になっているなどから、連合会の役員会は通信会議とし、俳句大会は紙上大会に切り替えて実施しました。

その結果、皆様のご協力により投句数が712句となりました。

なお、来年の大会は、令和3年9月25日（土）に岩手県盛岡市の「エスポワールいわて」で開催することに決定していますので、皆さんの積極的な参加を期待しています。以下、今大会の成績を紹介します。

現代俳句協会会長賞

瓦礫まだ声出してゐる熱帯夜

石巻市 菊池 修市

東北地区現代俳句協会連合会会長賞

象あるくたび炎昼を窪ませる

秋田市 小林万年青

岩手県現代俳句協会会長賞

とんがってゐるから崩すかき氷

十和田市 中村しおん

宮城県現代俳句協会会長賞

沖繩忌海は一枚の置手紙

青森市 後藤 岑生

福島県現代俳句協会会長賞

揚花火肩まで空が落ちてくる

青森市 宇内 久子

山形県現代俳句協会会長賞

兜太来るかも津軽林檎の花ざかり

滝沢市 小菅 白藤

秋田県現代俳句協会会長賞

百文のみちのくの山滴れり

盛岡市 名久井清流

青森県現代俳句協会会長賞

草矢うつ空深かった少年期

能代市 武藤 鉦二

秀逸賞

林檎の花咲くから村を捨てれない

横手市 佐藤二千六

振り返る為の橋あり終戦日

大仙市 加藤 昭子

まだ昼のきれいな時間髪洗う

能代市 古川よしみ

阿豆流為の眼光として夏の星

宮城県涌谷町 高橋 彩子

兜太なき日本の春のぐらぐらす

盛岡市 五日市明子

二メートル離れそはそは入学す
にかほ市 宮本 秀峰
笹粽還らぬ子らのために結ぶ
宮城県大河原町 日下 節子
長靴のいつも大きめ草いさげ
青森市 今 留里子

佳作賞

軒かく猫や憲法記念の日

弘前市 佐藤いく子

夕暮れの百日紅を死者昇る

宮城県涌谷町 高橋 彩子

春を病み洩瓶も季語として磨く

福島市 鈴木 正治

戦時下を巻紙みたいに話す祖父

福島市 清水 茉紀

お箸下さい母の日のレストラン

秋田県三種町 三浦 静佳

五線紙をはみ出す鳥語枇杷熟るる

山形市 木嶋 玲子

謹告

9月29日新谷ひろし初代会長
が逝去されました。
謹んで心よりご冥福をお祈り
申し上げます。

第60回記念 五所川原市文化祭県下俳句大会

日時 令和2年10月11日（日）
場所 五所川原市中央公民館
今年度は新型コロナウイルス感染症が心配されるなか、厳重な対策を取りながらの大会を開催しました。その結果についてご紹介します。
参加者数は126名、当日出席者は54名でした。

た。

【総合順位】①草

- 野力丸、②畑中とほる、③稲場暁子、④五十嵐かつ、⑤秋野かをり、⑥布施協一、⑦日野口晃、⑧佐藤いく子、⑨黒田長子、⑩吉田千嘉子、⑪木村秋湖、⑫葛西秋遊子、⑬大瀬響史、⑭鈴木とまと、⑮蒲田吟竜



・兼題賞…草野力丸（青森県現代俳句協会長賞）

・席題賞…草野力丸

・記念賞（第60位）…川村英幸

兼題A当季雑詠 小野 寿子選

推薦 笑ふこと忘れし母や赤のまま 油川 月萌

蒲田 吟竜選 雲かわり風かわりつつ九月かな 明才地禮子

推薦 三橋 浩二選 西瓜食む西瓜の味する奥津軽 後藤 岑生

案山子には爺のおさがり農の顔 成田みどり

ぎゆうぎゆうに秋夕焼詰め五能線 葛西秋遊子

高森ましら選 山坂はいつも幼年終戦日 松宮 梗子

推薦 山に向かつて男根萎えず稲の花 橋川まもる

竹鼻瑠璃男選 紫陽花の満つれど球になりきれず 清水山植子

兼題B当季雑詠 浜田しげる選 推薦 慎ましく暮らし色なき風に立つ 油川 月萌

日野口 晃選

推薦 人の世のひんやりとして石榴の実 成田みどり

南 美智子選 縄文の鼓動を槌に胡桃割る 葛西秋遊子

推薦 かなかなや地に還りゆく登り窯 加藤健一郎

席題「新松子」坂本 幽弦選 地位 守衛室の敬礼に礼新松子 竹鼻瑠璃男

秀逸 保護猫の逆立つうぶ毛新松子 佐藤 摩季

石崎 志亥選 天位 よちよちの何でも不思議新松子 森下 睦子

地位 初孫のふぐり大きく新松子 大瀬 響史

秀逸 妻の掌にほのかに満ちる新松子 後藤 岑生

中村しおん選 少年の握る拳や新松子 南 美智子

天位 初孫のふぐり大きく新松子 大瀬 響史

秀逸 体操の号令響き新松子 鈴木とまと

対馬 迪女選 十二湖の秘色いよいよ新松子 葛西秋遊子

天位 十二湖の秘色いよいよ新松子 葛西秋遊子

席題「水」(詠み込み)大瀬 響史選 地位 月低く水の破片を掴みけり 坂本 吟遊

秀逸 湧き水の柄杓の揺るる月今宵 佐藤いく子

布施 協一選 宇曾利湖の水子地蔵も風の色 千葉 芳醇

地位 手のひらの水ごと切りし新豆腐 中村しおん

島山 容子選 湧き水の柄杓の揺るる月今宵 佐藤いく子

秀逸 豊の秋太陽系に水の星 大瀬 響史

吉田千嘉子選 月低く水の破片を掴みけり 坂本 吟遊

地位 新米や研ぎ水母の乳より濃し 橋川まもる

秀逸 たつぷりと水の匂ひの茸山 成田みどり

手のひらの水ごと切りし新豆腐 中村しおん

白黒の水引ゆらす素風かな 坂本 幽弦

席題「雁」草野 力丸選

秀逸 雁の列遣伝子のまま飛ぶ形 千葉 芳醇

後藤 岑生選 初雁や頬骨高き岩木山 松宮 梗子

天位 惚れ惚れす声よき坊主雁渡る 鈴木とまと

人位 雁の列遣伝子のまま飛ぶ形 千葉 芳醇

秀逸 白神の空を従へ雁渡る 葛西秋遊子

松宮 梗子選 初雁や逝きし師の影声ひとつ南 美智子

天位 海鳴りははがねの硬さ雁渡る 後藤 岑生

秀逸 雁眺め破顔となりぬ祖父ひとり 坂本 吟遊

木村 秋湖選 残照の白神の峰雁渡る 森下 睦子

秀逸

第11回秋の吟行互選俳句大会

日時 令和2年11月17日

今年は、新型コロナウィルス対策のため、自主吟行として希望者（45名）による大会を開催しました。

【成績】

①10点名月を連れて弧を描く五能線 桜田 花音

②9点晩秋や阿修羅の流れ岩を蹴り南 美智子

③8点をなもみを付けて寄り来る崎の馬 山谷 文子

④8点どんぐりの寂しい実から落ち始む 成田みどり

⑤7点羊水の胎児も遊ぶ花野かな 稲部天津子

⑥7点毬栗の大笑ひして落ちにけり 鈴木とまと

⑦7点天空を手玉にとりて芋の露 明才地禮子

⑧7点神の留守十三へと川急ぐ 松宮 梗子

⑨5点赤大根中は真白な不満足 千葉 芳醇

⑩5点小春日の船の汽笛の音太し 小田桐妙女

発行所 青森県現代俳句協会

発行人 後藤 岑生

〒0301085 青森市金沢4の10の13